

来年度予算と まちづくりについて

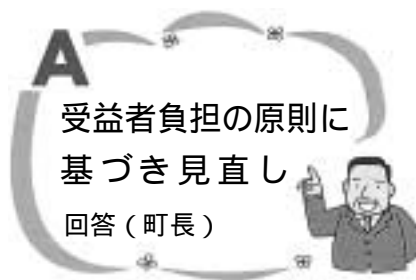


質問者
小澤啓司 議員

平成21年度の予算大綱が発表され、前年に比べ2、8億円減の緊縮予算が組まれました。財政状況が一段と厳しさを増している中、次のことをお尋ねします。

平成21年度以降、財政改善に向けた具体的な方策は、検討されていますか。

県道711号線（通称下り通）拡幅事業が着手されましたが、市街地再開発事業の構想はありますか。
以上2点につき、お尋ねします。



徹底した歳出抑制を推進する中で、使用料・手数料については受益者負担の原則に基づき見直しを進めてゆく。補助金・扶助費については、民間の見識者へ交えた補助金などの審査会を構成し、審議する。

県道711号線拡幅工事は、西側、東側と、更に役場下の県道72号

線交差点付近の三区間に分け、平成28年度を目途に整備する予定。駅周辺のまちづくりについては、市街地再開発という事業手法も視野に入れながら、町と住民の合意形成を計り、市街地の整備を行ってゆきたい。



県道711号

当面の松田町施策を伺います



質問者
山岸一治 議員

世界経済は、100年に一度という未曾有の大不況に落ち込んでいます。まだまだ、底がみえませんが、隣のハローワークは連日多くの人が訪れています。

ます。町民は苦しんでいると思います。

先日の全員協議会で報告されました「松田町21年度予算案」の概要では、不況対策らしき予算は見当たりませんでした。



予算編成につきましては大変ご苦労されたことと敬意を表します。しかし、このような経済不況の中、松田町行政は何ができるのでしょうか。何をしたらよいのでしょうか。お考えをお聞かせください。

臨時緊急支援対策
歳入減対策

国より地域活性化交付金3、500万円を

受け、寄簡易水道第二水源接続工事、松田小学校施設整備工事、寄中学校プール塗装工事等不況対策として執行中である。お尋ねの勤労者緊急支援対策については、平成8年から「松田町勤労者生活資金融資」がある。この制度は、「神奈川労金」に預託契約している。限度額100万円、金利2.3%、現在16件貸付中である。

中長期的には、人口増だ。若い方が住みなくなるようなまちづくりをする。当面の不況対策として、下水道等の公共料金の見直しを考えている。